

# 誤飲 (変なものを飲み込んだ)

電話で相談  
こども夜間安心コール  
#8000  
19:00~翌8:00



どのような症状がみられますか？

意識はありますか？

なし

ある

飲んだものはどれですか？

何を飲んだかわからない。

ボタン電池  
 硬貨  
 灯油  
 ベンジン  
 除光液  
 洗浄剤  
 漂白剤  
 しょうのう (樟脳) など

たばこ  
 ホウ酸団子 (ゴキブリ用殺虫剤)  
 ナフタレン  
 パラジクロルベンゼン  
 大量の医薬品 など  
(ナフタレンやパラジクロルベンゼンは防虫剤などに使用されています。)

化粧品  
 シャンプー  
 芳香剤  
 せっけん  
 クレヨン  
 シリカゲル  
 マッチ  
 粘土  
 保冷剤  
 水銀  
 植物活力剤 など

吐かせてはいけません。

すぐに吐かせましょう。

経過を観察しましょう。

休日夜間急患センター等を受診しましょう。

ただし、症状が大きく変わったら休日夜間急患センター等を受診しましょう。

救急車を呼びましょう

119



# 誤飲 (変なものを飲み込んだ)

ご家庭で 

- 誤って異物を飲み込んだときは、意識はどうか、呼吸は規則正しいか、顔色は良いか、吐いていないかを確認しましょう。
- 異物を飲んだときの応急処置が分からない場合は、(財)日本中毒情報センター (中毒110番) に問い合わせてください。

大阪中毒110番 072-727-2499 (365日24時間対応)  
つくば中毒110番 029-852-9999 (365日9時~21時対応)  
\*タバコ専用電話 (テープによる情報提供)  
072-726-9922 (365日24時間対応)

- ピンやガラスの破片などのとがったものや、判断できないものに関しては、吐かせずに急いで病院に行きましょう。

お医者さんに伝えましょう 

1 「いつ」「何を」「どのぐらいの量」飲みましたか？

2 嘔吐はありましたか？

☞ 飲み残しの容器、吐いたものなどをとっておいて、受診の際、お医者さんにみせましょう。

■吐かせるために■

- 飲みこんだとき  
指をのどの奥に入れて舌を押し下げる。
- のどにつままっているとき  
①頭を下にして、背中をたたく。  
②後ろからお子さんのおなかの前で手を組み、お子さんのおなかを上後ろ方向に強く引き上げる (図を参照)

●ハイムリッヒ法● (乳児は不可)



(※お子さんの口は開けておきます。)

こどもの誤飲は、生後7~8カ月頃から急に増加し、3~4歳頃までよく起こります。特に1歳前は、手に触れる物すべてを口に持っていきますので注意が必要です。小さな物はこどもの手の届かないところに整理しましょう。  
また、誤飲事故で最も多いものは、たばこです。たばこの誤飲は、急性ニコチン中毒を引き起こすことがあります。たばこや灰皿は乳幼児の手の届かないところに保管するなど、取扱いや置き場所に細心の注意を払いましょう。